

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名	住宅改修給付					所管	福祉部 高齢福祉課
	行政計画	事業NO.	174	計画事業名	高齢者住宅改修給付	事業の開始・終了年度	
事務事業の概要	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-1. 健康づくりと、自立生活を支える基盤づくり				[事業開始] 平成12年度	
		[小 柱] (4)高齢者の地域での包括的な支援の仕組みづくり				[終了予定] - 年度	
		[施策] ④居住環境の向上					
根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区高齢者住宅改修給付事業実施要綱				
事業対象	日常生活に困難があるまたは動作に相当の時間がかかり、これを改善するために住宅改修が必要と認められる高齢者						
事業目的	高齢者の居住する住宅を改修することで、転倒防止、動作の容易性の確保、介護の軽減等を図り、もって高齢者の福祉を増進する。						
事業内容	申請に基づき、必要と認められる者に対し、以下の工事費用の一部を助成する。 1. 住宅改修予防給付:手すりの取付、段差解消、洋式便器への便器取替え等 2. 住宅改修設備給付:浴槽の取替え、流し台・洗面台の取替え、便器の洋式化 3. 住宅改修新設給付:浴槽の新設、流し台・洗面台の新設、洋式便器の新設、階段昇降機の新設、1階床の新設 ※給付種別に応じて、要介護2以上等の要件あり。自己負担1割(限度額あり)。工事前に申請したもののみ対象。						
委託の有無	なし	委託内容					
補助金の有無	都						
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度
	活動指標	住宅改修給付助成件数	件	140	138	160	111
		住宅改修新設給付助成件数	件	30	10	12	5
	成果指標	改修による生活の質向上者数	人	170	130	148	100
		決算額 (単位:千円)			25,649	27,415	18,176
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			8,700	11,661	6,420
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			27	28	27
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			25,623	27,388	18,149
		総経費			34,350	39,077	24,596
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			12,812	13,693	9,074		
一般財源(区負担額)			21,538	25,384	15,522		
前回評価から改善した事項	工事事業者向けのチラシについて、記載内容をわかりやすく変更した。						
評価の視点	評価	評価の理由					
	必要性	3	高齢者の在宅生活を支える上で、転倒防止や動作の容易性の確保は重要であり、事業の必要性は高い。				
	効率性	3	利用者が効率的に給付申請できるよう、介護保険制度の住宅改修給付を併用して申し込む場合は、受付窓口を一元化している。				
	手段の適切性	3	適切な工事が行われるよう、事前に対象者宅を訪問し、対象者の身体状況および工事対象箇所を確認している。また、工事後も申請通りに改修が行われているか、使い勝手がよいかも含めて訪問し確認している。				
	目的達成度	4	成果指標「改修による生活の質向上者数」は減少しているが、平成28年度実施の高齢者実態調査における「居住環境の改善を必要としている高齢者の割合」は前回調査よりも減少しており、着実に高齢者の居住環境は向上している。				
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了
給付件数は前年度と比べて減少しているものの、高齢者実態調査における「居住環境の改善を必要としている高齢者の割合」は前回調査時に比べて減少しており、高齢者の居住環境は向上している。引き続き、必要な方に対し適切に給付を行うことで、在宅生活の支援を行っていく。						維持	